

令和6年度化学物質規制対策「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業」 報告会のご案内

経済産業省は、「大学・公的研究機関と連携した化学物質管理高度化推進事業」に関する令和6年度オンライン報告会を2月26日（水）に開催します。

経済産業省では、化学物質管理政策の一環として、特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律（化管法）等に基づき、事業者における自主管理による化学物質管理を促進しているところです。化管法については、施行から25年が経過する中、事業者の自主管理の進展等によって事業所からの環境への化学物質の排出量は減少傾向にあるものの、近年、排出量の減少幅は縮小してきています。化学物質を取り扱う多様な業種の事業者において、更なる自主管理が促進されるよう、現状分析等を踏まえ、課題解決に資する施策立案が重要となっています。

本事業は、化学物質管理施策における諸課題について、国際的な潮流を踏まえつつ、今後の制度のあり方や新たな施策の立案等に資する調査研究を実施するものです。

今年度は、公募の結果、4件の調査研究案件を採択しました。

本事業で採択した調査研究案件について、2025年2月26日に報告会を開催いたします。報告会では、各案件の実施者に調査研究の成果や今後の課題などを発表いただく予定です。

<報告会概要>

| | |
|-----|---|
| 日時 | 2025年2月26日（水） 10時00分～15時30分 |
| 場所 | 会議形式 オンライン ※Microsoft社のTeamsを使用予定です。 |
| 主催 | 経済産業省 |
| 参加費 | 無料 |

<プログラム> 2月26日(水)

| | |
|-------------|---|
| 10:00-10:05 | 開会 経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課化学物質リスク評価室 |
| 10:05-11:00 | 「化学物質の魚類中体内動態と代謝酵素分画による <i>in vitro</i> 分解との相関」 国立大学法人鹿児島大学 山崎雅俊助教 |
| 11:00-11:05 | 予備時間 |
| 11:05-12:00 | 「AI 技術を用いた魚類における「代謝されにくさ」を決定づける化学物質の特徴探索」 国立大学法人九州工業大学 飯田緑准教授 |
| 12:00-13:30 | 休憩 |
| 13:30-14:25 | 「下水道事業における化石炭素の把握・定量化と PRTR 制度による連携」 国立大学法人大阪大学 中久保豊彦准教授 |
| 14:25-14:30 | 予備時間 |
| 14:30-15:25 | 「化学物質のライフサイクルを踏まえた新規 POPs や重金属の環境及び生態への影響評価」 公立大学法人北九州市立大学 伊藤理彩准教授 |
| 15:25-15:30 | 閉会 経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課化学物質リスク評価室 |

※各報告時間には質疑応答（10分程度）を含みます。

<申込み方法・問合せ先等>

| | |
|-------|---|
| 申込み方法 | 参加希望者リストに必要事項を記載の上、電子メールで参加申し込みをしてください。 申込先：E-mail: bz1-risk-gijutsu@meti. go. jp 申込期限：2025 年 2 月 20 日（木） |
| 問合せ先 | 経済産業省産業保安・安全グループ化学物質管理課化学物質リスク評価室 鈴木、何本 E-mail: bz1-risk-gijutsu@meti. go. jp ※電子メールでのお問い合わせをお願いします。 |